

東京支部集會報告

十月二十一日東京支部で集會がもたれ、次の提案がよせられました。大会の日程に関する事項は事務局で予定に納入しておりますので省略いたします。(参會者 小山(陸)、宮賀、竹内(幹)、惣崎、谷原、岡田、北川、長崎、蓮見、國澤、中野等)

○大会議案の提案

(A) 本年度大会開催地は本年度大会の状況如何による。が、日本社会学会大会が秋序京で行われることを一つの条件として考慮してもよい。

(B) 来年度大会の開催 本年度大会の報告討論

から問題をしぼって行くという意見も出たが、確定するに至らなかった。

(C) 研究費補助申請の開催は、結局文部省のそれによるはかあるまいが、会員の分布状況にかんがみ全国的な範圍にわたることには樂觀的でない。しかし他の支部や研究グループが具体的な成果を持てば總會の議によつて村研全体の計画として支持することも一つの案である。

(D) 次期事務局は愛知(豊橋、岡崎)にお願いできないだろうか。井森教授を中心に川邊健彦等の協力の御力を得、要すれば通信は交替で開催して頂くのも一案ではないか

(E) 来年度年報事務局を京大に移す案が教育大側より提案された

○来年度の年報編集計画案、特設「マイ」以後十年「日本農村の變化」(仮題)内容

- (1) 概観 (2) 家族 (3) 村落構造 (4) マス・コミ
- (5) 町村合併 (6) 農業農村 (7) 農村経済
- (8) 農民運動 (9) 農民の価値観 (10) 生活改善と青年婦人運動

○「日本の農業経済」戦後の成長と構造変化―農林省統計調査部編 東洋経済新報社 (三二〇円) これには最近の各種統計が豊富に集録されているので、大会参加前に一覽しておくといふと思われる。

以上